

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却について

固定資産の減価償却については、法人税法の規定による定率法によっている。

(2) 引当金の計上基準について

事務局職員の退職給付に備えるため、退職金規程に基づく要支給額により計上している。

(3) 消費税等の処理について

税込方式によっている。

2 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位 円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
応接セット (H2. 3)	700, 000	699, 999	1
看板 (H2. 3)	236, 900	236, 899	1
パソコン (H9. 8)	448, 854	448, 853	1
パソコン (H16. 7)	179, 975	178, 173	1, 802
プリンタ (H17. 6)	133, 350	130, 682	2, 668
シュレッダ (H17. 6)	168, 000	164, 637	3, 363
プリンタ (H18. 10)	31, 030	30, 099	931
ノートパソコン (H19. 10)	106, 654	106, 653	1
プロジェクタ (H19. 11)	102, 900	102, 899	1
デスクトップ (H20. 3)	53, 915	53, 914	1
デスクトップ (H26. 3)	179, 800	5, 004	174, 796
合 計	2, 341, 378	2, 157, 812	183, 566

3 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである。

(単位 円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
特定預金資産	2, 400, 543	478	0	2, 401, 021
退職給与引当資産	2, 920, 794	581	0	2, 921, 375
合 計	5, 321, 337	1, 059	0	5, 322, 396

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

(単位 円)

科 目	当期末残高	(指定正味財産 からの充当額)	(一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対する額)
特定資産				
特定預金資産	2, 401, 021	(0)	(2, 401, 021)	—
退職給与引当資産	2, 921, 375	(0)	(0)	(2, 921, 375)
合 計	5, 322, 396	(0)	(2, 401, 021)	(2, 921, 375)

付属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

注記3に記載しているため省略する。

2 引当金の明細

(単位 円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給与引当資産	2, 920, 794	581	0	2, 921, 375